

ー労働と教育の場「雑草」・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だよりー

あらぐさニュース

2014 10

Vol.55

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方 438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

きょうされん第37回 全国大会 in かながわ

就労移行の仲間



来年は「兵庫県」に決定しました。
兵庫県に送る応援旗として、会場
で手形のスタンプ押しをしちゃ
いました!!(*^0^*)♥

いい笑顔でしょ??

9月22日(月)、23日(火)の2日間を通し開催されました。今年は、開催地が神奈川県横浜ということもあり、あらぐさを代表して、就労移行事業の仲間、第1クローバーハウスの仲間、第2クローバーハウスの仲間、あらぐさ正職員と例年より大人数で参加しました。

1日目は、「ウェルカムアワー」という題で、友野龍士さんによる和太鼓演奏と、吉原毅さん(城南信用金庫理事長)による記念講演が行われました。和太鼓演奏はあっという間に終わってしまい、「もうちょっと聞きたかった。」と仲間の声が…。講演内容としては、金融業務以外に東日本大震災の支援など社会貢献活動を通しての出来事や原発事故の問題などでした。みんな真剣なまなざしで、話をじっくり聞いているようでしたが、「内容が…長くて難しかったです。」と仲間で口をそろえての感想となりました。

2日目は、横浜観光や分科会などが行われました。分科会では、障害者に対する日常生活面や職場、施設先での支援で必要なポイントを改めて見つめなおす、いい機会になったのではないのでしょうか。横浜観光につきましては、6ページ目の「第1クローバーハウス」に記載されていますので、そちらをごらんください。
(関口)

新コーナー

あらぐさ応援団

『雑草』は様々な方々に支えられて今に至っています。

今回は「やぎさん一座」で有名な八木さん御夫妻を紹介いたします。

八木さん御夫妻には8年くらい前からお世話になっております。始めは奥様がさをり織りの縫製のボランティアで来ていただいていたいました。奥様は器用な上にアイディアマンで仲間が織った布でいろいろな物に仕立てて、仲間の織りを励ましてくださいました。本当にいろいろな製品を作っていたいただき作業担当の私もとても助けられたことを覚えております。

少し遅れて旦那様もボランティアにみえられ、旦那様にはリサイクル作業を手伝っていただきました。御夫婦揃っていつもにこやかで穏やかな雰囲気が仲間には人気で、仲間たちはいつも見える日を楽しみに待っている様子でした。その後八木さんの言葉にもあるように「やぎさん一座」一座を立上げられ、今では市内各所での公演活動に大忙しになっています。

そんな忙しい中でも「雑草」の仲間たちのことは忘れずにいてくださり、必ずクリスマス会や成人を祝う会には仲間たちに楽しい紙芝居を見せてもらっています。特に成人を祝う会では成人を迎えた仲間の成人を迎えるまでの歩みを写真で構成しパワーポイントで上映してくださっています。仲間も職員もそれを見ながら成人を迎えた仲間を改めて知る機会となっています。親御さんにも大好評です。本当は職員がしなければならぬのにすっかり八木さんに甘えてしまっています。本当にありがとうございます。この場を借りて改めてお礼申し上げます。



「やぎさん一座」の様子はホームページからもご覧いただけます。また、YouTubeにも紙芝居の動画がアップされています。是非ご覧になってみてください！
(岩渕敦子)

八木実さんからの言葉

私たち夫婦が初めて「雑草」を訪れたのは、平成16年7月頃でした。会社勤めの定年後、妻から「雑草」でのボランティア活動を勧められたのです。それまでは仕事人間でボランティア活動には無関心でしたから、とても新鮮に感じました。

最初、授産施設についての知識や経験がなく、仲間の方との接し方がわかりませんでした。当時リサイクル班の担当だった中富さんや送迎車の運転手さんを見習って、自然体で仲間の方と接することができるようになり、「八木さんのお父さん」と言われると思わず顔がほころんでしまいました。妻は当時のさをり班に行き、夫婦でのボランティア活動が始まりました。

「雑草」に行き始めて3年くらい経った頃、妻と2人で3歳の孫娘のために紙芝居を作り、それを「雑草」の皆さんに見てもらいました。それが私たちの第1回の公演となりました。その後、次第に紙芝居のボランティア活動が忙しくなり「雑草」のお手伝いができなくなってしまいました。今年は2回、12月の「クリスマス会」と1月の「成人を祝う会」で皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。今後ともどうかよろしく願いいたします

新クローズアップ

☆高橋 佑樹さんのこと☆

スコップでスチル
缶プレス中！！

高橋佑樹さんは2年前に上尾特別支援学校を卒業し雑草に入ってきました。雑草ではリサイクル班に所属しています。

祐樹さんの印象はというと スマート、真面目、物静か、声がかわいいなどなど・・・

朝作業に入る前の点呼では毎日必ず「はい、元気です！」と優しい声で答えてくれます。作業は印象通り真面目にマイペースながらもコツコツと最後までしっかり取り組みます。回収に行くとき取り残しはないか確認してくれ、回収後に車から降ろす時も最後の1本まで残さずきっちりおろしてくれ頼りになります。作業中のやや硬い真面目な表情が一転して柔らかくなるのが生活介護事業の取り組みの時です。生活介護事業の取り組みは軽スポーツ、おやつ作り、おでかけなどいろいろ楽しいとくみなので祐樹さんも楽しんでいる様子が表情からわかります。

ボーリングに行ったときは大活躍でストライクやスペアを次々に出して高スコアを出しみんなから「すごい！！」と絶賛され満面の笑みでうれしそうでした。まるやま公園で弟の佑也さんとサッカーボールを楽しそうにけり合っている姿は微笑ましい感じでした。

これからも雑草で作業やいろいろな取り組みの中でまだまだ秘めている力を出していってくださいね！期待しています。

(職員 岩渕敦子)



祐樹が「あらぐさ」に通所し始めて1年半が過ぎました。小さいころから性格はおとなしく何事にもマイペースでした。初めてのことにはすぐに手を出さず、自分でしっかり見て確認してそれから行動していくので、学校で実習があり、たいへん助かりました。高等部からこだわりが出始め進路もとても心配でしたが自宅から近い「あらぐさ」に入所が決まり安心しました。入所後はリサイクル班になりましたが、夏の暑さが苦手な祐樹が大丈夫だろうかと不安でしたが、毎日休むことなく通所しています。朝、元気に大きな声で「いってきます！！」と言って行くのも自分に自信ができてきたと同時に職員の皆様、一緒に働く仲間たちが声かけて接してくれているからだと思います。親としてはまだいろいろなことで不安はありますが、成長を願い見守っていきたいと思います。これからも祐樹をよろしく願いいたします。

(母より)



日帰りバス旅行 in 那須



10月4日(土)「雑草」のなかま・保護者・職員で、栃木県的那須高原へ日帰りバス旅行に行ってきました。天気にも恵まれたこの日、自然豊かな那須りんどう湖レイクビューにて、バターの手作り体験やどうぶつとの触れあい・餌やり体験、ゴーカートやメリーゴーランドといった乗り物で楽しんだり、おいしいソフトクリームを食べたり、ジュースを飲んだり…。みなさんそれぞれ楽しんでいました。普段なかなか経験のできない1日を過ごせたのではないのでしょうか？

たくさん歩いたあとは、お菓子の城 那須ハートランドで、お菓子の工場見学やお買い物をしました。お菓子の種類が多く、「何を買おうかな〜？」と悩みながらお土産を買っているなかまもいました。帰るころには、みなさんの「楽しかった！」の笑顔がたくさん見ることができました。

(伊藤・村越)

～なかまの感想～

- ・那須に何回も行ったことがあるけど、楽しかった。
- ・うさぎが触れて楽しかった。
- ・アルパカがかわいかった♡ 楽しかった。
- ・とても楽しかった。1番は買い物したこと。
- ・みんなでバター作りをしたことがよかった。
- ・アルパカがよかった。餌をあげた。
- ・また行きたい！！





手作りの
バターは
おいしい！



ドキドキ...
うまく餌を
あげられる
かな？

うさぎ
かわいい！
初めて
触った！！

